

# 夢咲く短大 2025

北本 雅久

会津大学短期大学部研究紀要 第 83 号抜刷

2026 年 3 月

## 夢咲く短大 2025

北本 雅久 \*

【要旨】本稿では、2025年6月1日、7月27日、10月18日および19日に会津大学短期大学部で開催された「オープンキャンパス 2025」において使用するために制作した広報ツールについて、その成果を報告する。メインビジュアルとなるポスター1点と、その他のグラフィックツール9点を対象とし、デザインコンセプトと効果的な視覚表現について整理し、広報物としての特徴と可能性を提示する。

---

\* 会津大学短期大学部産業情報学科准教授

## 1 はじめに

本稿は、会津大学短期大学部（以下、本学とする）が実施した「オープンキャンパス 2025」において使用したポスターおよび各種広報ツールに関する制作報告である。2019年度以降、本学では「夢咲く短大」というキャッチコピーを視覚的に表現したデザインを継続的に用い、本学の学習内容が学生の進路実現に直結することを広く発信してきた。

「夢咲く短大」を象徴する花形モチーフは、幾何学図形を組み合わせ構成したシンプルな造形を特徴とし、多様な広報媒体への展開が可能である。また、明るく前向きな印象を与えるこの視覚表現は、本学を志望する高校生および保護者に対して、親しみやすいイメージの形成を目的としたものである。2025年度もこのコンセプトを踏襲しつつ、本学のブランドイメージの定着と情報発信の強化を図るため、各種広報ツールのデザインを一貫して担当した。

## 2 ポスター（メインビジュアル）のデザインについて

2025年度のポスター（図1）は、従来同様、幾何学図形を組み合わせた花形モチーフと幾何学パターンを基調としている。ただし、今回は紙面全体に花形モチーフを散りばめるレイアウトではなく、中央に集約させることで視線を一瞬で引きつけ、「夢咲く短大」というメッセージを明確に伝えることを意図したものである。

中央の造形は、七つの花々が一つの大きな花束を形作るイメージで制作した。この「七」という数には、本学における七つの入学者選抜区分を象徴する意味も含めている。花卉には、グラデーション、透過、線状など異なる手法を重ねることで、知識の積み重ねや学生一人ひとりの成長過程を視覚的に表現した。

紙面全体を囲む白いフレームは、さまざまな掲示環境において視認性を確保するとともに、周囲との調和を図るために設けたものである。直線ではなくジグザグ形状とすることで、本学から地域社会へと飛び出していく学生たちの若いエネルギーを抽象的に示唆している。

背景色には、中央の造形を際立たせるため、あえて無彩色であるグレーを採用した。また、単調な印象を避けるために異なる方向の破線による市松模様を施した。このパターンには花の種や「夢を紡ぐ」イメージを込めている。色彩に頼らず視覚的变化を生み出すことで、限られた要素の中でも紙面全体に動きとリズム感を与えることを試みた。

さらに、キャッチコピーのみを縦書きとし、文字ごとに色を変化させることで、花形モチーフとの一体感を強調した。

ポスターのサイズは以下のとおりである。

728×515 mm

## 3 各種広報ツールへのデザイン展開について

ポスターで設定した花形モチーフ、配色、書体などの要素を、各種広報ツールの制作に展開した。すべての媒体に視覚的な統一感をもたせることで、本学のブランドイメージを強化するとともに、受け手に対して信頼性と安心感を与える効果を狙っている。また、過年度と同様、媒体ごとの形状や素材に適したデザインとなるよう考慮した。

2025年度は、告知用としてチラシ（図2）、封筒（図3）、Web バナー（図4-5）、参加者向けノベルティとしてクリアファイル（図6-7）、うちわ（図8）、トートバッグ（図9）、シール（図10）、さらに

当日の会場装飾として、のぼり旗（図 11）、Tシャツ（図 12 - 13）の計 9 点のデザイン展開を行った。

クリアファイルについては、これまで全面印刷とすることで統一感を重視していたが、その一方で「使用時に中の資料が確認しづらい」という課題があった。そのため、2025 年度は表面の印刷要素（花形モチーフ、キャッチコピーなど）を半分程度に抑え、裏面に施した破線パターンを背景として活かすことで、使用性とデザイン性の両立を図った。

また、新たなノベルティとしてシールを追加した。シールは参加者が手軽に受け取れる点や、身の回りの物に貼ることで継続的に視界に入る点から、本学への親しみやすさを高めることを目的としている。配色には、ポスターとは異なる鮮やかなグラデーションを背景に用いることで、小さなサイズでも本学およびオープンキャンパスの印象が記憶に残りやすい仕上がりとした。

各種広報ツールのサイズは以下のとおりである。

チラシ：297×210 mm

封筒：332×240 mm

Web バナー：675×1200 px

クリアファイル：310×220 mm

うちわ（印刷部分）：155×192 mm

トートバッグ（印刷部分）：190×172 mm

シール：50×50 mm（台紙 128×91 mm）

のぼり旗：1800×600 mm

Tシャツ（印刷部分）：200×320 mm

#### 4 おわりに

2025 年度もデザイナーとして各種広報ツールの制作に一貫して取り組むことで、オープンキャンパス参加者に対し、本学のブランドイメージを効果的に発信できたと考える。また、オープンキャンパスにとどまらず、大学案内の表紙にも花形モチーフを展開したことで、年間を通じた視覚的統一感を生み出すことができた。

2026 年度は、本学が開学 75 周年を迎える節目となる。これまで以上に視覚的効果の高い表現を模索し、多様なデザイン手法を取り入れながら、本学の教育内容を会津地域内外へ発信し、イメージの向上と定着を図るグラフィックデザインを追求していく予定である。



図1 ポスター (メインビジュアル)



図2 チラシ



図3 封筒



図4 Web バナー



図5 HPに掲載したWeb バナー



図6 クリアファイル



図7 資料を入れた状態



図8 うちわ



図9 トートバッグ



図10 シール



図11 のぼり旗



図12 Tシャツ



図13 Tシャツを着用した学生スタッフ